



自然体で暮らそう、
いっしょに。

FINE PLACE

2023 | 03

[ファインプレイス]



大工の技。



仕口賞
受賞

現場監督 山本 知史 \ 変化球で勝負！/
+ 広報担当 相澤 真希 チーム

二種の木を組み合わせて釘を使わずに組み上げたおしゃれな作品

棟梁 采女 直資 \ ド直球で勝負！/
+ 設計 久保田 亜矢子 チーム

木目の美しいムク材を使い、手触りの良さも追及した作品

棟梁 後藤 秀孝 \ 魔球で勝負！/
+ 現場監督 市村 浩人 チーム

とって
把手の中にLEDを仕込み、デザイン性と安全性を両立した作品



「ジャパンホームショー2022」会場内の『わざわざ座 握りごち居ごち展』で公開されました (2022年10月27日～29日)。

わざわざ座 デザインコンテスト2022 に参加しました

昨年10月に開催された『わざわざ座デザインコンテスト2022』。家具や道具など、テーマを決めて職人のアイデアと技を込めた作品を持ち寄り、一般にも公開されるユニークなイベントです。

今回のテーマは「ドアハンドル」。全国の工務店から32作品の応募がある中、ナルシマは3作品を出品しました。昨年までは棟梁の中から1〜2名が主となり、設計担当者がサポートするというスタイルで参加してきましたが、今回は少し方針を変更。棟梁だけでなくリフォームの現場監督や広報担当の社員を含む2人1組でチームを組み、アイデアを出し合う、という方法を試みました。そのため、なかなか個性的な3作品が完成。嬉しいことに、初参加の山本+相澤チームが「仕口賞」をいただきました！

わざわざ座の本来の目的は、大工の手による家具や道具を企画・製作し、工務店の木の家具づくりを豊かにしていくこと。ナルシマもこの思いに賛同し、家具づくりも展開しています。また、こうしたコンテストへの参加は社員のモチベーションを高め、お客様へのご提案にも活かされています。新築やリフォームの際に限らず、家具の入れ替えを考えている方は、ナルシマの家具もぜひご検討ください。(関連記事は中面の特集をご覧ください)